

令和3年度

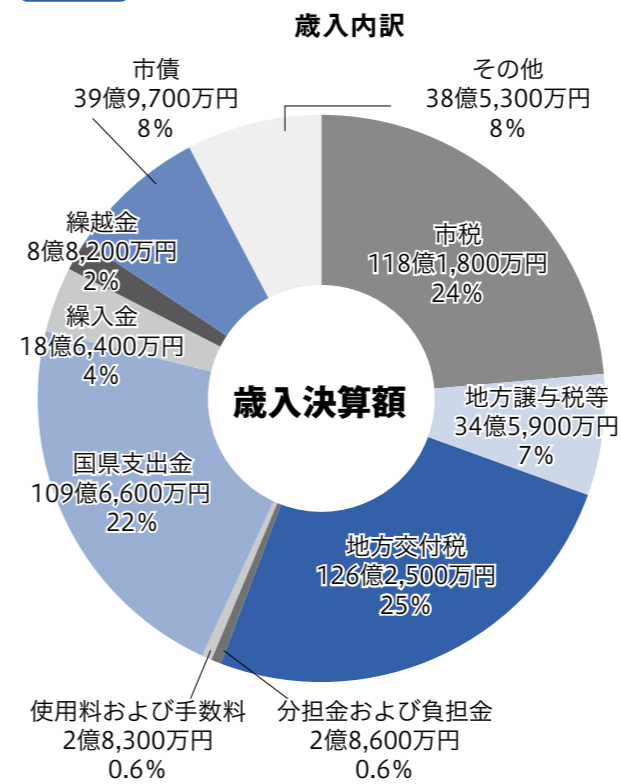
決算公表

令 和4年9月定例市議会に令和3年度安曇野市の各会計の決算が上程され、認定されました。決算概要と市の財政状況をお知らせします。

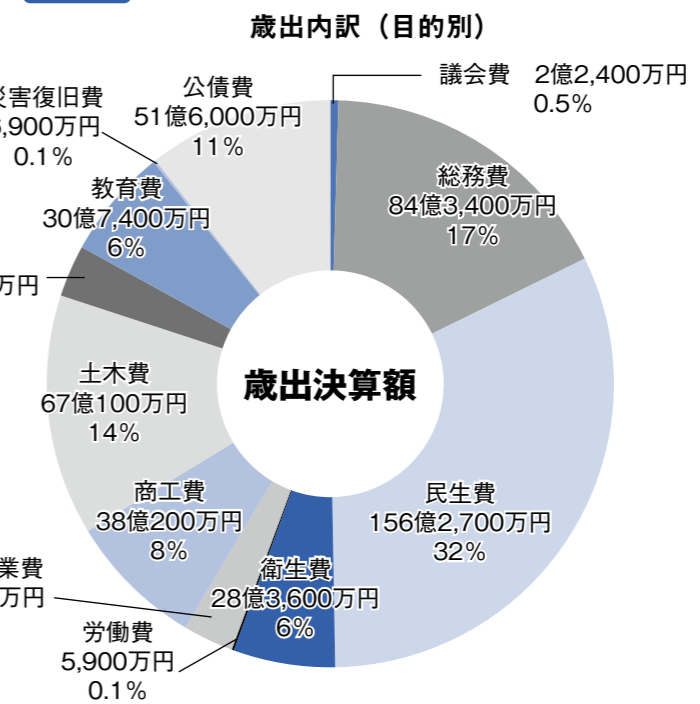


9月定例会最終日(9/28)

一般会計の歳入 (前年度比)
歳入 500億3,300万円 (▲11.1%)



一般会計の歳出 (前年度比)
歳出 488億3,800万円 (▲11.9%)



※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。
 ※100万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。

令

和3年度一般会計の決算規模は、コロナ対策費用によって著しく膨らんだ令和2年度決算と比べ大きく減少。歳入決算額は、500億3300万円(前年度比▲11.1%)、歳出決算額は、488億3800万円(前年度比▲11.9%)となりました。収支は11億9400万円、翌年度繰越財源を除いた黒字額(実質収支額)は、9億5800万円となります。また、国民健康保険や介護保険などの特別会計、水道など公営事業会計の決算は、左表のとおりです。

特別会計

特定の事業を行う場合、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。(単位:万円)

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険特別会計	970,790	965,923	4,866
後期高齢者医療特別会計	131,395	128,535	2,859
介護保険特別会計	983,885	960,223	23,662
上川手山林財産区特別会計	257	108	149
北の沢山林財産区特別会計	91	26	66
有明山林財産区特別会計	91	20	71
富士尾沢山林財産区特別会計	93	23	70
穂高山林財産区特別会計	77	30	47
産業団地造成事業特別会計	144,028	144,015	13
有明荘特別会計	1,515	1,514	1

※万円未満四捨五入により、差引額は一致しません。

公営企業会計

料金や使用料など事業収益で運営される会計です。(単位:万円)

会計名	収入	費用	差引額	
水道事業	収益的収支	213,716	175,191	38,525
	資本的収支	13,361	131,025	△117,664
下水道事業	収益的収支	410,695	347,542	63,153
	資本的収支	83,389	260,258	△176,869

資本的収支の不足額は、補てん財源(損益勘定留保資金など)により補てんしました。

市

税は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う固定資産税の軽減措置等により2億2400万円の減額。その一方、法人市民税は1億1000万円の増額になるなど、新型コロナウイルスの影響に左右されながらも部分的には持ち直しの傾向が見られました。また、国庫支出金では令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス関連の

部分的に持ち直しの傾向

歳出

前年度を下回る

増

加した主な事業は、まず、新型コロナウイルス感染症対策事業が挙げられます。具体的には、子育て世帯等臨時特別支援事業11億5200万円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業7億3400万円、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業4億9100万円、飲食店等応援給付金等事業1億4900万円の増額などとなります。次に、土木費では17億6700万円の増額となり、新総合体育館建設事業や都市再生整備計画(明科駅周辺)などです。

一方、大きく減少した事業は、特別定額給付金給付事業97億6200万円、穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業28億1600万円の減額が挙げられ、これらの影響から歳出総額では令和2年度を下回りました。

